



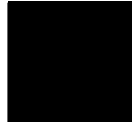
(様式2)

2023年8月30日

京丹後市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名

創明
永井 友昭



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和5年7月22日(土) 16:00 ～ 21:00
- 2 場所 兵庫県西宮市 夙川公民館
- 3 目的 全国再エネ問題連絡会第2回全国大会 参加
全国で大きな問題となっている再エネ事業の現状と各地の取組や自治体の対応を学ぶ。
- 4 該当する政務活動費の使途項目 研修費
- 5 支出経費の内訳と金額
①会場への往復旅費 往路 5,890 円 復路 5,770 円
②7/22の宿泊費 8,000 円
合計で 19,660 円
- 6 参加議員名 永井 友昭
- 7 活動成果の概要、所見

全国各地での大型再エネ事業の展開の状況とそれに警鐘を鳴らす専門的知見及び環境や生活の保全を求める各地の住民運動の現状、更に国会におけるこの問題の議論などを総合的に学んだ。

全国で山間部でのメガソーラー発電所が深刻な災害や環境問題を起こしてい

る実態や、膨大な数の陸上、洋上大型風力発電所計画が環境面などの配慮が不十分なまま進められている実態と、環境保全や地域づくりの視点から受け入れられないとする自治体が増えてきている状況を知ることができた。大型風力発電計画のある本市にとって、非常に有益な内容であった。

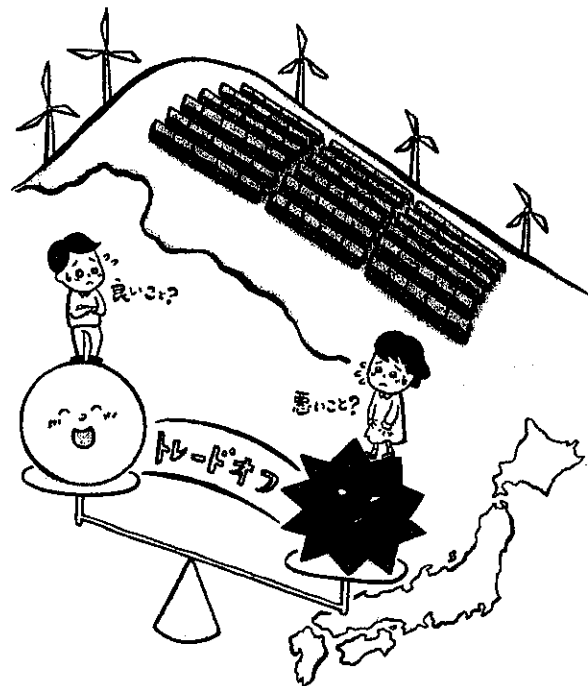
8 成果物、資料等

基調講演をされた本市（大宮町）出身の鈴木猛康教授の最新刊「増災と減災」を手に入れ、防災と大型開発事業についての最新の知見を得ることができた。また超党派の多くの国会議員（「真の地産地消型エネルギーシステムを構築する議員連盟」など）や自治体議員が行き過ぎた再エネ事業に疑問を呈している事も知ることができた。

増災と 減災

行き過ぎた
再生可能エネルギー
開発による
災害への警告

鈴木猛康



理工図書